

平成22年度 立山砂防事業概要



白岩砂防堰堤

建設当時(S21撮影)※完成はS14



国土交通省北陸地方整備局
立山砂防事務所

❖ 立山砂防の柱 ❖

地域の生活基盤を支え、活力ある地域づくりを目指して

1. 安全な生活基盤の確保
2. 地域とともに創る川づくり
3. 防災意識の向上
4. 自然との共存

1. 安全な生活基盤の確保

立山カルデラ内に残された約2億m³もの不安定な土砂が急激に流出しないための要かなめの施設である白岩砂防堰堤の保全対策や湯川源流部の土砂生産源対策を重点に砂防事業を実施していきます。併せて、地震や豪雨等による大規模土砂災害に備え、警戒避難等のための情報収集・発信に必要な光ケーブルや監視カメラ等の情報基盤整備を進めます。

2. 地域とともに創る川づくり

立山砂防事務所周辺は、中部山岳国立公園の玄関口のひとつにあたり、年間百万人を超える登山客や観光客が訪れます。溪流の水辺は、豊かな自然に親しむことが出来る大切な空間でもあることから、より多くの方々に親しんでいただけるよう、地域づくりと一体となって川づくりを進めます。

3. 防災意識の向上

近年のゲリラ豪雨や地震など突発的な土砂災害から人命を守るためには、防災意識の向上が必要不可欠です。立山砂防事務所では、安政5年(1858)の飛越大地震を契機とする常願寺川流域での災害の歴史や砂防事業の役割等を知っていただくための防災情報の発信や防災教育の支援を積極的に行っていきます。

4. 自然との共存

中部山岳国立公園には貴重な自然が豊富にあります。砂防工事の実施にあたっては、その貴重な自然の保全対策や外来種の進入抑制など自然との共存をこれまで以上に推進します。

1. 安全な生活基盤の確保

❖カルデラ対策の推進

白岩砂防堰堤保全対策については、重要文化財の価値に配慮しながら実施します。更に、脆く、崩れやすい湯川源流部において土砂生産源対策のための整備を推進します。

❖情報基盤整備

地震等に伴う突発的な土砂災害に備え、光ファイバー網や監視カメラ等の監視・観測体制の充実を図ると共に関係機関との連携を強化するため、平時から防災訓練等により危機管理対処能力の向上に努めます。



▲白岩砂防堰堤保全対策
左岸盛土部の補強対策として、盛土部の抑え盛土整備や法面対策を施工しています。



▲危機管理演習(H21.9)
定期的に訓練を実施し、災害に備えます。



▲監視カメラによる監視
リアルタイム映像により、迅速な情報収集・監視が可能となります。

2. 地域とともに創る川づくり

❖地域参加の川づくり

水と緑の貴重な空間である川をより身近で親しみのあるものとするため、地域と一体となった川づくりを推進します。

常願寺川水辺の楽校（きらきら広場）



▲常願寺川水辺の楽校(きらきら広場)
砂防事業・自然・文化・歴史等を学ぶ場として平成19年7月6日に開校しました。現在は「人・川ふれあい連絡会」を中心に地域の方々にも様々な活動において協力・参加いただいています。



▲総合学習の様子
立山カルデラ博物館の学芸員を講師に招き、水生生物調査を実施しています。



▲小学生による砂防施設見学



▲きらきら広場クリーン作戦

3. 防災意識の向上

❖ 各世代へ向けた防災情報の発信

富山平野の安全確保のために先人が行ってきた災害との闘いの歴史やその中で生まれた工夫などの防災情報を発信し、万が一に備えるため、防災意識啓発活動を積極的に行っています。



▲立山カルデラ砂防博物館
全国初の砂防博物館として、立山カルデラの大自然の営みと先人の英知たる砂防事業をテーマとした活動を行っています。
立山砂防事務所では、この博物館とともに、砂防・防災情報発信の充実を図ります。



▲防災教育支援
地域の災害史や砂防堰堤の役割についての学習を通し防災意識の向上を図ります。



▲砂防見学会
立山カルデラ内の砂防事業や崩壊状況を説明。

4. 自然との共存

❖ 自然に優しい技術の採用

常願寺川流域が持つ雄大で多様な自然環境を理解し、共存を図ることにより自然の息吹を感じられるような川づくりを行います。



▲在来種による山腹工
立山カルデラ固有の生態系に配慮し、在来の植物を使用し、崩壊が著しい斜面の緑化、安定を図ります。



▲タイヤ洗浄機による外来種進入防止対策
立山カルデラに入る手前のスゴ谷において、ダンブ等のタイヤを洗浄できる装置を設置し、外来種の侵入防止を図ります。



▲魚道整備
堰堤に遮られることなく、魚が自由に移動できるよう魚道を整備しています。また、イワナの産卵環境の向上を目指して、人工産卵床の実験造成を行っています。

事業費

(千円)

目	H22年度事業費
直轄砂防事業費	4,370,450
合計	4,370,450

工種別内訳

河川名	工種					計
	砂防堰堤	床固	護岸工	山腹工	その他	
湯川	5	1		3	1	10
真川				1		1
称名川						
常願寺川	1		1			2
計	6	1	1	4	1	13

砂防事業施工箇所

幹川及び支川名	新規・継続	施設名	計画概要
湯川	継続	兎谷砂防堰堤群	第1号堰堤、第3号床固
〃	継続	湯川上流砂防堰堤群	第13号堰堤、第16号堰堤
〃	継続	多枝原谷上流砂防堰堤群	第28号堰堤
〃	継続	多枝原谷山腹工	山腹工
〃	継続	白岩砂防堰堤補強	下流部斜面对策
〃	継続	水谷沢下流山腹工	山腹工
〃	継続	水谷下流山腹工	山腹工
真川	継続	真川護岸山腹工	山腹工
常願寺川、湯川	継続	常願寺川中流域砂防堰堤補強対策	水谷第3号砂防堰堤補強
常願寺川	H22完成	桑谷床固群	護岸工
〃	継続	天鳥第2号砂防堰堤	本堰堤

平成22年度 工事施工箇所図

